



喜多流自主公演

令和四年 一月

令和4年 1月9日(日)

12:00開演 (11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和3年11月1日(月) 午前10時～

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。


・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご来場はお断りさせていただきます。

忠 賀
度 茂
大 村 佐々木多門
定 門

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

助成:  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂 HP にてご確認ください。お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン
<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

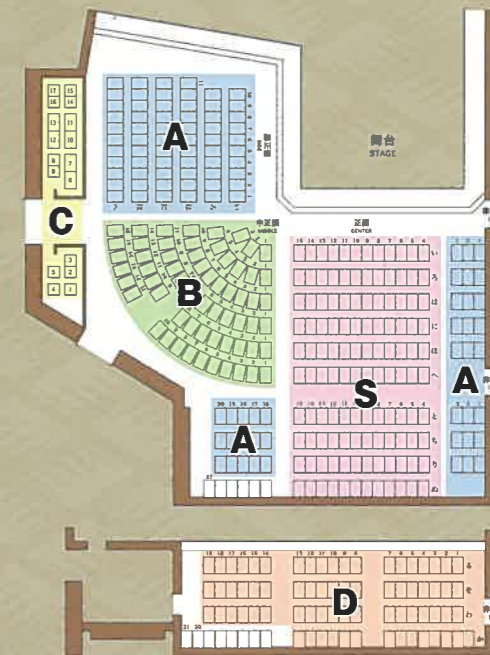


喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ・本年度は延期になった前年度の振替公演です。ご利用は前年度(令和2年度)喜多流自主公演年間優待券をご利用ください。尚、前年度の予約済の指定席も有効です。
- ・青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席 9,000円 C席(1階後敷席) 6,500円
A席 8,000円 D席(2階席) 6,500円
B席 7,000円 学生席(2階席) 2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

一月自主公演番組

能

シテ連・天女 友枝雄太郎
シテ連・里女 狩野祐一
後シテ・里女 佐々木多門

賀茂

ワキ・神職 舘田善博
ワキ連・従者 則久英志
ワキ連・従者 御厨誠吾
アイ・賀茂明神の末社 野村裕基

大鼓 大倉慶乃助 太鼓 桜井均
小鼓 観世新九郎 笛 小野寺竜一

後見 内田安信
友枝雄人

金子龍晟 粟谷充雄
佐藤陽 金子敬一郎
友枝真也 粟谷明生
高林昌司 内田成信

狂言

筑紫奥

シテ・丹波の百姓 野村萬齋

アド・筑紫奥の百姓 野村太一郎
小アド・奏者 石田幸雄

休憩(二十分)

仕舞

東北

香川靖嗣

内田成信
友枝雄人
狩野了一
金子敬一郎

能

後シテ・平忠度の霊
前シテ・樵翁 大村 定

忠度

ワキ・旅僧 森 常好
ワキ連・従僧 梅村昌功
ワキ連・従僧 野口能弘

大鼓 柿原光博 笛 成田寛人
小鼓 幸 信吾

アイ・須磨の浦人 中村修一

後見 友枝昭世
谷 大作

狩野祐一 粟谷浩之
佐藤寛泰 狩野了一
塩津圭介 出雲康雅
谷 友矩 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 四時頃

賀茂(かも)

播州室の明神に仕える神職が賀茂明神に参詣する。川辺を見ると注連縄を張った壇に白羽の矢が祀られてある所に里女たちが水汲みに現れる。里女の話ではこの矢はご神体であり、昔この賀茂の里に住む秦氏の娘が賀茂川で神に捧げる水を汲んでいると、白羽の矢が一つ流れて来て水桶に入った。拾い上げて家の軒に挿しておくといふ夫がいよいよ女は身籠り男の子を産んだという。ある日三歳になった男の子に父を尋ねると、男の子は一座の誰も指さずに軒に挿してある矢を指した。すると矢はたちまち天に昇って去った。そしてその男の子が別雷神となったと語る。やがて里女は神徳を告げるために現れたと言つて姿を消す。(中人)賀茂明神の末社が現れ賀茂社の縁起を語り終わると、天女の姿で御祖神(みおやのかみ)が現れ舞を舞う。そこに別雷神が雷神の姿で現れ、五穀成就を祈り国土を守る神威を示して舞を舞い、天女は乱の森へ雷神は天へと昇っていった。(約九十分)

筑紫奥(つくしのおく)

筑紫奥の百姓が年貢の唐物(中国渡来品)を納めにいく途中、果物を納めにいく丹波国の百姓と道連れになる。年貢を蔵に納めた二人の百姓が神妙なので、取り次いだ奏者が直接領主に年貢の品名を申し上げよと言ふ。二人が朗々と述べると、万雑公事(諸雑税)を免除されることになり、二人は大声で喜ぶ。その声があまりに大きかったため、所有の田一反につき一声ずつ笑うよう命じられる。お正月に相応しい、めでたい内容の狂言。高らかな笑い声が福々しさを感じさせる。(約三十分)

忠度(ただのり)

旅僧が須磨の浦に立ち寄り一本の桜に目を留め見入っていた。そこに老人が現れ桜の木に花を手向けた。不思議に思った旅僧は老人に話しかけし話し語り合う。やがて日が暮れてきたため老人に一夜の宿を求め、すると平忠度の詠んだ「行き暮れてこの下藤を宿とせば花や今宵の主ならまし」の歌を引いて、この花の蔭ほどの宿は他にないと僧に勧める。そして自分がその忠度であることをほのめかし姿を消す。(中人)旅僧が花の蔭に仮寝をしていると、夢の中に平忠度の霊が現れる。忠度は自分の歌が『千載集』に採用されたが朝敵である為「読み人知らず」とされたことを嘆き、都に帰ったらこれを撰者の藤原俊成の子、定家に伝えて作者名を明記して欲しいと訴える。そして出陣の際に藤原俊成の家を訪ね歌を託したこと、一の谷の合戦で岡部六弥太と戦って討死したこと、その際に服につけた短冊で六弥太に名を知られたことを物語り、跡の甲いを頼んで消え失せた。(約九十五分)

令和四年二月自主公演番組予告

令和四年二月二十七日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 令和三年十二月一日(水) 午前十時

采女 中村 邦生
大会 友枝 真也